

読者のひろば

読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



戦 後80年シリーズを興味深く拝読しております。特に「桜花」のことは、以前、平和学習ガイドの方から教えていただき、とても恐ろしいことだと思いました。その後、自分で調べてみたら、松本零士さんが「コクピット」というアニメで「桜花」を扱っていたらびっくりしていることがわかり、すぐに観ました。戦争は絶対に良くないことだと思わされました。(Y・Tさん・男性)

今年には戦後80年という大きな節目を迎え、今月号でも特集を掲載しています。戦争を知らない世代が多くなっている今、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へつなぐため、特別企画展や創作演劇などの様々なイベントが開催されます。先の大戦による多くの犠牲のもとに今日の平和な日々が過ぎることを忘れてはいけません。しかし、現在も世界の各地で紛争が起きています。改めて世界が平和になることを祈ります。

昨 年の暑さは本当に骨身に染みました。暑さ対策として、緑のカーテンコンテストが載っていましたので早速申し込みました。入賞者は表彰もあるそうですが、そこまではいかないうちでも涼しい夏の手助けになるよう手入れをして育てようと思っています。(トシチャンさん・女性)

暑い夏を涼しく過ごす方法の一つとして「緑のカーテン」があります。緑のカーテンは、アサガオやヘチマ、ゴーヤなどのつる性の植物で建物の窓や壁を覆い、強い夏の日差しを和らげます。本市では、ゼロカーボンシティかのやの実現に向けて、市民・市内の事業者・小中学校及び市が一体となり、緑のカーテンを作り上げることで省エネと二酸化炭素の削減を目指しています。また、緑のカーテンコンテストは毎年開催しており、今年度の申し込みは終了しましたが、ご家庭や職場などで取り組んでみてはいかがでしょうか。

フォトネタ!



鶴峰小で水泳学習支援ボランティア
6月27日、鹿屋体育大学水泳部出身の高田大さんによる水泳の授業が鶴峰小学校で行われ、児童7人に水の特性や基本的な泳法を指導しました。

毎 月、子どもたちと拝見しています。イベントやスポーツ、教育推進事業など、子どもたちの活躍が多く取り上げられているので、知っている子を探すことが楽しみの一つになっています。また、広報かのやを通して、我が子がどんな事に興味があるのかコミュニケーションを取る機会にもなっていて、広報かのやをきっかけにスポーツを始める予定です。いつかは我が子も掲載される日が。(R・Nさん・女性)

家庭での読み物として広報かのやを読んでいただきありがとうございます。お子さんとの会話のきっかけ作りや家族の団欒に使われることは私たちとしても励みになります。今年の4月から広報誌もリニューアルし、新コーナー「スクールエール」では学校の団体を紹介、「鹿屋街道」では、かのや風土記の中身を深掘りしていますので、お楽しみください。

※キリトリ線

お便り&メッセージ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽せん・賞品(賞品引換券)の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。

編集後記

戦 時を知る人は確実に減ってきています。知る人たちに“まだ”直接聞くことができる私たちは、次の世代のためにしなければならない責務があります。(麓)

後 ろを振り返ることで前に進むことができる。1歩を踏み出すためには、これまでをしっかり振り返ることで、正しく踏み出すことができると思っています。(新牛込)

八 は未広がり、これから繁栄していく縁起のいい数字だそうです。私の人生も未広がりになるように仕事も家族も交友も頑張っていきたいと感じるこの頃です。(堂込)

十 分な睡眠時間がわかりません。短くても長くても眠いので、適切な睡眠サイクルで生活したいところですが、つつい寝るのが遅くなったりしてしまいます。(牧野)